

いきいき水路モデル事業

- 老朽化した農業用水路の改修が必要
- 水路の断面などが不足

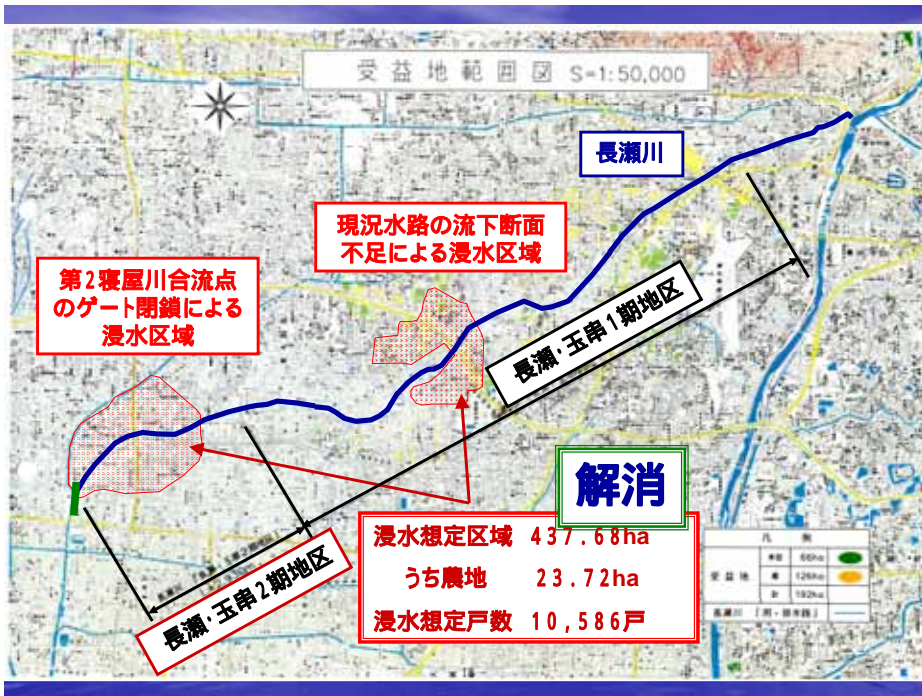


- 農業用水路の改修にあたり、農業用水路としての機能を確保するとともに、農業者と地域住民が一体となって、水と緑豊かな水辺環境づくりを行い将来に亘り保全・活用を行えるように整備する事業

大和川付け替え(1704年)前の旧大和川水路敷に整備された歴史ある水路

疏水百選に選定
(大和川分水築留掛かり)

延長約14 km



着手前の状況

隣接する道路(管理にも利用)は狭隘、歩車が混在し危険

コンクリート三面張水路



分離壁により3断面に分離
中心を用水、両端を悪水が流下

着手前の状況



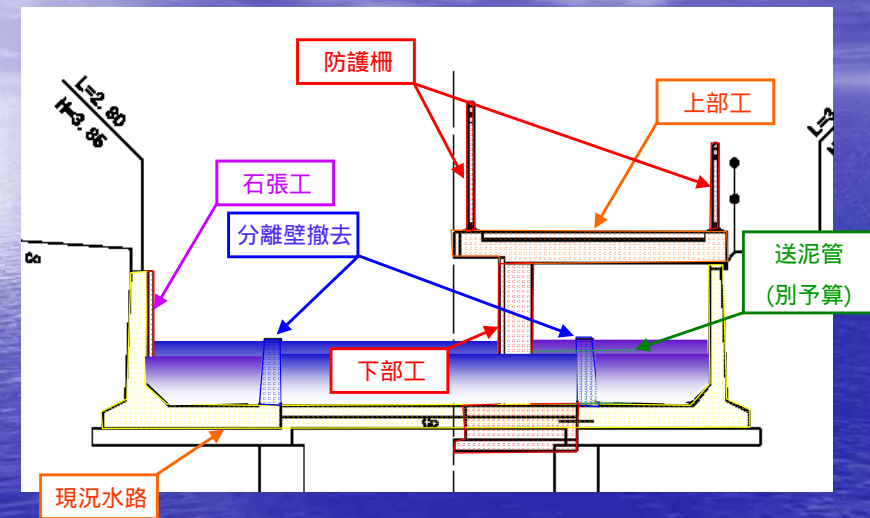
護岸が損傷

着手前の状況



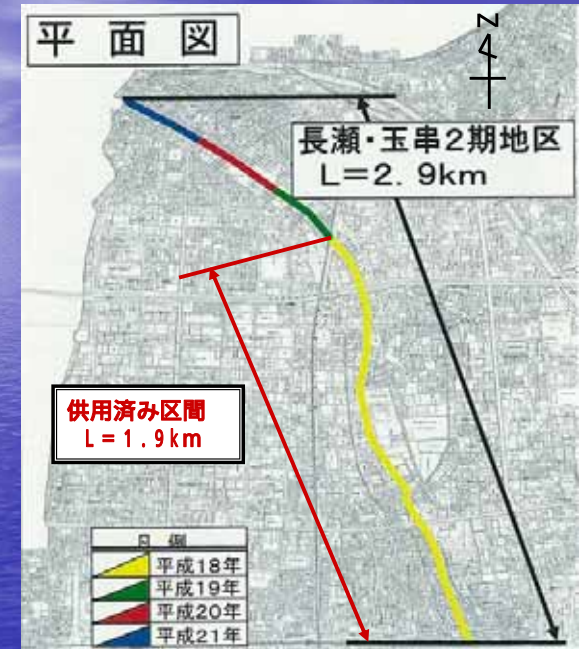
分離壁が損壊

工事内容 標準断面図



事業概要

- **事業年度** 平成15～21年度
(当初計画 平成15～19年度)



事業概要

- **事業費**
全体事業費 約9.5億円
約8.0億円
投資済事業費 約5.4億円

進捗率(工事) 65%

費用便益

- $B/C = 1.58$
(計画時 $B/C = 1.51$)

便益総額 $C = 87.9$ 億円
($C = 86.8$ 億円)

総費用 $B = 55.7$ 億円
($B = 57.6$ 億円)

便益算出は1期地区を含む
便益総額の増は時点修正による。
総費用の減は1期・2期地区の事業費減による。

事業効果

- **安全・安心**
改修により水路の安全性が向上し、護岸崩壊などによる溢水などの被害を未然に防止できる。
- **活力**
用排水の完全分離により、農業用水が確保され、地域農業の振興に寄与する。
- **快適性**
身近で快適な水辺環境の創出により、良好な生活環境が形成される。
- **その他**
魚などの水棲生物や水生植物など生き物の生息場所が確保できる。

現地の状況



事業効果

- **地域住民との連携**
「長瀬川下流域住民懇談会」
地元自治会や近隣小学校、PTA等で構成
事業計画段階
実施設計段階
工事施工段階 の全段階において協議

花壇づくりや植栽活動などを住民連携で実施

地域住民との連携

